

障害者スポーツ推進プロジェクト  
「地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業」  
委託事業成果報告書



2022年3月

長野県

(パラウエーブNAGANO実行委員会)

## 目 次

I 事業背景	・・・ 2
II 事業実施の目的、体制	
1 事業目的	・・・ 2
2 事業実施体制	・・・ 2
III 事業内容	
1 事業の年間スケジュール	・・・ 4
2 内 容	
(1) ボッチャ審判員養成講習会の開催	・・・ 5
(2) 総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり事業	・・・ 8
IV 今後の展望等	
1 評価・分析等	・・・ 16
2 反省点	・・・ 16
3 今後の課題、施策の方向性	・・・ 16
V 関連する取組	
1 パラウェーブ広場の開催	・・・ 18
2 パラスポーツを題材にした教育プロジェクト「パラ学」の実施	・・・ 19
3 ボッチャ競技大会「パラウェーブ NAGANO カップ 2021」の開催	・・・ 20
その他広報、資料等	・・・ 22

本報告書は、スポーツ庁の障害者スポーツ推進プロジェクト委託事業として、長野県が実施した令和3年度障がい者スポーツ推進プロジェクト（地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業）の成果を取りまとめたものです。従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

## I 事業背景

障がいのある人にとって、スポーツは社会参加への第一歩であるとともに、地域における交流の機会としても重要である。しかし、障がい者スポーツ振興はこれまでも行政や様々なスポーツ関係者が取り組んできているが、依然として障がい者のスポーツ離れが改善されず、本県でも他の地域と同様に、スポーツをする障がい者は減少傾向にあり、県障がい者スポーツ大会等への参加者数は10年前と比較し、約2割減少している。また、本県は県土が広く、市町村数が多いこともあり、地域によって障がい者スポーツに対する取組に温度差がある。

このような現状の中で、2028年に本県で全国障害者スポーツ大会の開催が予定されており、この大会の開催に向けた選手発掘・育成強化、指導者や障がい者スポーツを支える人材の養成を進めていく必要があるとともに、障がい者が身近な地域でスポーツに親しむ環境づくりが急務となっている。

### <現状と課題>

- スポーツを実施する障がい者が減少傾向
- パラスポーツに対する地域間の温度差が大きい
- 障がい者スポーツ指導員の活躍できる場が少ない
- 障がい者スポーツ競技団体の指導員・審判員不足、
- 障がい者スポーツ指導員・審判員等の人材の不足、活動の低迷、競技スポーツへの専門性低下、指導者同士のつながりの欠如

## II 事業実施の目的、体制

### 1 事業目的

これまでも市町村や総合型地域スポーツクラブ等が、それぞれで障がい者等へのスポーツ体験会を実施してきたが、県土が全国で4番目に広く、市町村数も77と多い本県では、関係する機関と連携しながら県全体で魅力ある一体的な普及啓発活動を行う必要がある。

それと同時に、障がい者スポーツを楽しめる機会や場所、障がい者スポーツを担う人材を新たに掘り起こすことで、県民が障がい者スポーツを楽しめる機会を拡大し、身近な場所でスポーツを楽しめる環境を整備していくことが求められている。

### 2 事業実施体制

パラウェーブNAGANO実行委員会（以下「実行委員会」）

- ・目的 スポーツを通じた共生社会づくりに向けた事業実施、実施結果の検証、成果のとりまとめ、課題解決に向けた分析
- ・委員 15名（県、県教育委員会、大学関係者、障がい者スポーツ関係者、スポーツ関係者、公民館、社会福祉関係者等）  
事務局：県障がい者支援課

・会議開催状況

第1回実行委員会

日 時：令和3年5月

開催方法：新型コロナウイルス感染症の影響により書面決議により実施

議 題：令和2年度 収支決算

第2回実行委員会

日 時：令和4年2月24日（木） 14時00分～16時00分

開催方法：Zoomによるオンライン会議

議 題：令和3年度事業の途中報告、令和4年度の事業計画案及び収支予算案

パラウェーブNAGANO実行委員会 委員名簿

	役 職	氏 名	所 属
1	委員長	福田 雄一	長野県健康福祉部長
2	委員	犬飼 己紀子	長野県レクリエーション協会 副会長
3	委員	金子 和夫	長野県スポーツ推進委員協議会 副会長
4	委員	加藤 正	(公財)長野県障がい者スポーツ協会 コーディネーター
5	委員	小松 昌久	(公財)長野県障がい者スポーツ協会 理事
6	委員	篠原 利典	長野県障がい者スポーツ指導者協議会 会長
7	委員	平林 晃	長野県公民館運営協議会 副会長
8	委員	伊東 一雄	(公財)長野県スポーツ協会 事務局長
9	委員	橋本 政晴	信州大学教育学部 講師
10	委員	辺見 元孝	長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 理事
11	委員	山崎 珠美	長野県障がい者福祉センター スポーツ課長
12	委員	田口 亜希	(公財)日本財団パラスポーツサポートセンター ディレクター
13	委員	原 佳正	長野県社会福祉協議会 事務局長
14	委員	北島 隆英	長野県教育委員会事務局 スポーツ課長
15	監事	轟 寛逸	(公財)長野県障がい者スポーツ協会 常務理事

### Ⅲ 事業内容

#### 1 事業の年間スケジュール

時期	主な取組	関連する取組	備考
4月			
5月	・事業告知開始		
6月		教育プロジェクトの開始	スポーツ庁と契約・事業開始
7月	総合型5クラブと契約・事業開始		
8月			・東京パラリンピック聖火リレー ・東京パラリンピック ・広報誌の発行
9月			・広報誌の発行
10月		パラウエーブ広場	・広報誌の発行
11月	・ボッチャ審判講習会（東北信） ・ボッチャ審判講習会（中南信）		
12月		・ボッチャ東信大会 ・ボッチャ中信大会	・広報誌の発行 ・広報誌の発行
1月		・ボッチャ北信大会（中止） ・ボッチャ南信大会（中止）	
2月	▼	▼	・ボッチャ県大会（中止）
3月			

## 2 内 容

### (1) ボッチャ審判員養成講習会

#### ○目 的

県内でのボッチャの基盤強化とボッチャを通じた共生社会づくりの一環として、審判ができる人材を一人でも多く養成することを目的として開催

#### ○日 程

東北信会場：令和3年11月13日（土）

中南信会場：令和3年11月20日（土）

#### ○時 間

午前の部：10：00～12：00

午後の部：13：00～15：00

#### ○場 所

東北信会場：長野県立武道館（佐久市猿久保）

中南信会場：塩尻市ユメックスアリーナ（塩尻市広丘）

#### ○参加者数

全体 102 名（東北信会場 59 名、中南信会場 43 名）

その他、手話通訳 2 名配置（ろうあ者 1 名参加のため）

#### ○講 師

2 名 高野 仁美（長野県ボッチャ協会 会長）

相澤 秀明（長野県ボッチャ協会 理事長）

#### ○講習会内容

##### ①午前の部

- (1) 開講、諸注意、講師の自己紹介
- (2) ボッチャの紹介（動画によるルール説明など）
- (3) 実戦形式により、試合の流れや審判としての動き等を講習
- (4) ボッチャ用具の説明

##### ②午後の部

- (1) 実戦形式により、ペナルティや特殊事例など中上級者向けの内容を講習
- (2) ボッチャ競技大会「パラウェーブNAGANOカップ2021」審判員募集について  
ボッチャ協会会員募集について

##### (3) 閉会

#### ○成果

- ・受講者のうち 35 名が、ボッチャ競技大会「パラウェーブNAGANOカップ2021」で審判員として大会を支えてくださった。
- ・各地域で公民館活動や教育現場等様々なニーズがあり、それに対応できる人材を養成できた。
- ・初心者から上級者向けと幅広い方を対象としたので、どちらの会場も多くの受講者に参加いただけた。

- ・障がい者スポーツ指導員 29 名の活動の場として参加いただけた。
- ・中南信会場では、ポッチャ用具メーカーの(株)アポワテックに用具についての説明を行っていただき、ルールだけでなく用具についても触れながら学ぶことができた。
- ・説明だけではなく、実戦形式による講習を行ったので、全員が何度も審判・選手・観戦(見て学ぶ)を交代しながら行うことで、最後まで楽しんで受講いただくことができた。

○課題と今後について

- ・各会場 1 日で終了だったので、まだ大会で審判を行うには自信がないとの声が見受けられた。
- ・小さなポッチャイベントを紹介するなどして、経験を積んでいただくことが必要。
- ・来年度も講習会を継続的に開催し、自信がない方へのフォローや、さらなるスキルアップを図っていただく必要がある。

○講習会実施後のアンケート調査結果概要（対象：会場での受講者）

以下のアンケート結果から満足度の高い講習会となったが、一方でまだ大会で審判を行うには自信がない方が多いことが分かる。

Q 1 本日の講習会はいかがでしたか。

回答	件数	%	主な理由
満足	61	87%	<b>【満足】</b> 初心者でもわかりやすい説明だった。 楽しく過ごせた。色々考えながらプレー、受講できた。 実際にゲームをしながら説明をいただけたので、わかりやすかった。 ポッチャの楽しさが伝わる講習会だった。 体験型で良かった。 基礎編、応用編における事例を説明いただき、知識が広がった。 多くの審判経験を積んで審判員を務められるようにしたい。 とてもわかりやすく、一人で参加しても大丈夫でよかった。
やや満足	6	9%	
普通	3	4%	
やや不満	0	0%	
不満	0	0%	
計	70	100	

Q 2 あなたのお住まいの地域で、ポッチャをやってみたいというニーズはありますか。

回答	件数	%	どのようなニーズがあるか
ある	65	93%	地域の高齢者クラブやボランティア団体など 公民館活動・教育現場 ポッチャクラブ設立準備中 学校の総合学習、レクリエーション 小学校の子供たちが休み時間にやっている 地域や身障協などで大会が行われている 地区体協の行事
ない	3	4%	
不明	2	3%	
計	70	100	

Q3 今後、県からポッチャ審判員として依頼があった場合、審判を行いたいと思いますか。

回答	件数	%	いいえの主な理由
はい	53	76%	体験教室レベルならいいが、大会レベルは自信がない。 今回、初めてなので、何回か研修を受けたい。 大会での審判はハードルが高いのでお手伝いスタッフなどから経験を積みたい。
いいえ	17	24%	
計	70	100	

### 講習会の様子



(2) 総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり事業

○目的

障がいの有無に関わらず、誰もが身近な地域でスポーツを楽しめる環境づくりを推進するため、総合型地域スポーツクラブ等が地域の障がい者福祉施設等と連携して、障がい者に対しスポーツやレクリエーションの体験会を提供することで、障がい者のスポーツ実施環境を整備する。

〔総合型地域スポーツクラブでの障がい者参加の状況調査〕

障がい者の受け入れをしているクラブ数

区分		平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2年	令和 3年
クラブ 回答 数	受け入れている	9	14	14	20	<b>18</b>
	割合 (総数に対する%)	13.2%	20.9%	20.9%	30.3%	<b>26.9%</b>
	受け入れていない	7	12	17	29	32
	不 明	4	10	4	6	2
	回答総数	20	32	35	55	52
総合型クラブ総数		68	67	67	66	67

○令和 3 年度の実施状況

障がい者スポーツの拠点づくりに意欲のあるクラブを募集。

令和 3 年度は以下の 5 クラブからの申請があり、拠点づくり事業を 5 クラブへ委託した。

【スケジュール】

令和 3 年 5 月 18 日 事業告知開始（長野県体育センターを通じて、県内全総合型地域スポーツクラブへの周知に加え、総合型クラブ連絡協議会総会で周知）

令和 3 年 6 月 4 日 企画書・概算見積書提出期限

令和 3 年 6 月 11 日 書類審査

令和 3 年 6 月 28 日 見積書の提出依頼

令和 3 年 7 月 1 日 見積書の提出期限

令和 3 年 7 月 1 日 5 クラブと契約・事業の開始

契約クラブ

①千曲アプリコットスポーツクラブ（千曲市）

②大かえで倶楽部（池田町）

③NPO 総合体操クラブ Wing（松本市）

④木曾ひのきっ子ゆうゆうクラブ（上松町）

⑤たかぎスポーツクラブ（喬木村）

令和 4 年 2 月 28 日 事業終了

[委託クラブからの実施報告（各クラブからの報告書や県の聞き取りにより作成）]

①千曲アプリコットスポーツクラブ（千曲市）

1 連携団体

いなりやま福祉会（満天の星、はなたば、いなりやま共同作業所）  
千曲市社会福祉協議会

2 実施内容

（1）レクリエーション体験会

日 程 （10月～12月の水曜日に定期開催）計 10 回

令和3年10月13日（水）、10月20日（水）、10月27日（水）、  
11月10日（水）、11月17日（水）、11月24日（水）、  
12月1日（水）、12月8日（水）、12月15日（水）、12月22日（水）

場 所 千曲市勤労者体育館等

参加者 いなりやま福祉会

内 容 ボッチャ、スマイルボール、ダンス、風船バレーなどのレクリエーション体験会

（2）障がい者スポーツ大会

日 時 令和4年1月23日（日）

場 所 千曲市更埴体育館

参加者 障がい者とその家族、友人

内 容 ボッチャ、バドミントン等の交流大会

3 事業実施後のクラブのコメント

○ボッチャのルールも理解でき、上達してきたので、勝ち負けにもこだわるようになった。試合にも出場してみたいという方もいてこれからは楽しみ。

○ボッチャのランプを雨どいで作った。ボールを投げられない方が転がすことができ、喜んでもらったので良かった。

○皆さん積極的に体を動かして楽しんでいたので、定期的にスポーツができる環境があればもっと生活が豊かになると思いました。若い方でもスポーツをする機会は、年に1, 2回なので「もっと手軽にスポーツをしてみたい」と言っていました。

4 課題

○この事業をもっと地域全体に広め、色んな事業所の方を対象として実施したい。しかし、体験会を実施できるスペースがない福祉施設は体育館に来てもらうしかないが、遠い施設はスタッフの送迎が必要になるため、なかなか対象施設を増やせない。



## ②大かえで倶楽部（池田町）

- 1 連携団体 安曇野レッズ、くわの木（福祉施設作業所）、  
長野県立安曇養護学校、安曇野レッズ

### 2 実施内容

#### （1）レクリエーション・スポーツ交流

第1回 くわの木利用者とボッチャによる交流

日 程 令和3年11月9日（火）

参加者 講師 長野県障がい者スポーツ協会 2名

町内福祉施設作業所「くわの木」利用者・指導員 10名

大かえで倶楽部運営委員・会員 9名 計21名

第2回 安曇養護学校寄宿舎生とボッチャによる交流

日 程 令和3年11月16日（火）

参加者 安曇養護学校寄宿舎生および職員 16名

大かえで倶楽部運営委員・会員 8名 計24名

#### （2）フットベースボール体験会

内 容 安曇野レッズとクラブ会員のフットベースボール体験による交流会

最初に安曇野レッズ監督の中平考さんからルールやチームの活動などについてお話を聞いた後、参加者全員が2つに分かれて、安曇野レッズのリードでチームごとに練習。ボールキャッチの仕方や蹴り方などを丁寧に練習した後、約50分間交流ゲームを実施。

日 程 令和3年11月28日(日)

場 所 池田町総合体育館アリーナ

参加者 安曇野レッズ講師3名 選手11名

大かえで倶楽部会員 一般参加者11名 計25人

### 3 事業実施後のクラブのコメント

- ポッチャは大げさな準備が必要なく、手軽にできる種目で頭も体もリフレッシュでき良かった。
- 初めてポッチャを体験した参加者が多かったが、ルールの説明を聞き実際にゲームを始めると全員が積極的に取り組んでいた。思うようにボールを転がせなかった人も最後まで楽しそうに取り組んでいた。
- フットベースボール体験会では、参加者が練習の段階から安曇野レッズの人と一緒に活動したことにより、チームワークが高まり、交流ゲームでは励ましや応援の声がけが自然と出て、とてもいい雰囲気での交流会を行うことができた。



### ③NPO 総合体操クラブ Wing（松本市）

1 連携団体 日本ダウン症協会長野県支部ひまわりの会、療育センターみらい・らいふ

#### 2 実施内容

##### (1) ダウン症児親子体操

内 容 ダウン症児とその保護者を対象にタオルを使った準備運動や、ループを使って楽しく動いたり、トランポリン運動を行ったりして、楽しく体を動かす

日 程 令和3年7月17日(土)、10月23日(土)、11月27日(土)、12月18日(土)、  
令和4年1月22日(土)

場 所 松本市総合体育館、松本市入山辺公民館

参加者 ダウン症児とその親子 35組

##### (2) 放課後児童運動支援

内 容 多様な動きを引き出すために、音楽や道具を使って体を動かす

日 程 令和3年7月9日(金)、10月7日(木)、10月22日(金)、12月2日(木)、  
12月16日(木)、令和4年1月7日(金)、1月18日(火)

場 所 療育センターみらい・らいふ

参加者 発達障害児童 53人

#### 3 事業実施後のクラブのコメント

○昨年の経験を活かして、トランポリンの台の高さを3段階にし、無理なく体験できるようにしたことで、子供も保護者も自分のペースで体験できた。

○新聞紙を折りたたむ動作がうまくできない子もいて、その辺の配慮がやや不足していたと反省。しかし、新聞紙ボールは軽く扱いやすいので時間が足りないほど全員が大変喜んでくれた。

#### 4 課題

○スポーツ専門のスタッフはいるが、障がいは人それぞれ特有で、障がいについて精通しているスタッフがいないため、障がいについて勉強する場が欲しい。

○障がい者スポーツを取り入れるにあたっての情報があまりなく、前年を参考にしているが、情報共有する場が必要。



#### ④木曽ひのきっ子ゆうゆうクラブ（木曽郡上松町）

1 連携団体 長野県立木曽養護学校

2 実施内容 水上スポーツサップ体験

木曽養護学校の小学部、中学部、高等部の生徒を対象に、初めにサップ慣れをメインに行い、乗り方や漕ぎ方、安全に降りる方法を伝えて、自由にサップ体験を実施。

日 程 令和3年7月7日（水）、7月9日（金）、7月16日（金）

場 所 木曽養護学校プール

参加者 木曽養護学校の生徒 17人

#### 3 事業実施後のクラブのコメント

○子供たちは新しい体験で興味津々だった。先生も興味津々で子供たちと木曽養護学校の先生たちともサップを通して触れ合うことができた。

○小学部では、集中力にかけられる子供たちがいたり、水の上でサップに乗ることが怖い子供がいたりして大変だったが、養護学校の先生の誘導で体験することができた。

○小学部の反省からサップの他にフィン（足ひれ）を用意し、サップを体験していない生徒にもフィンをつけて泳いだりし、いい体験ができた。



#### ⑤たかぎスポーツクラブ（下伊那郡喬木村）

1 連携団体 長野県立飯田養護学校、サンスポート駒ヶ根

2 実施内容

卓球・ボッチャ（小中高校生向け）

S T T（視覚障がい者向け）

フットサル・ボール運動（小中高校生向け）

日 程 令和3年7月～令和4年2月にかけて、それぞれ月1回定期開催

場 所 みんなの広場アスポ（下伊那郡喬木村）

参加者 視覚障がい者と介助者 6組、障がいのある小学生及び家族 16人

障がいのある高校生以上及び家族、ボランティア 25人 計47人

### 3 事業実施後のクラブのコメント

- 卓球の途中でポッチャを取り入れることにより、ポッチャも楽しんで行うことができた。
- 健常者（たかぎスポーツクラブの卓球クラスの方々）にボランティアをお願いし、障がい者の卓球の相手をしてもらった。健常者と障がい者が一緒にスポーツすることができた。
- スポーツを行うことも大切だが、参加者の気持ちや近況を聞くことも大切だと感じた。世間話をする事で参加者の生活環境なども知ることができたり、体調などにも気を使うことができるのではないかなと思う。
- 参加者を集めるのに苦労するが、参加者が大人数だから評価される、少人数だから評価されないというものではないと思うので、障がいの有無に関わらず地域で定期的な運動を行える場としていくには1人からのスタートでも継続的に開講をする必要はあると考える。

### 4 課題

- 人見知りの参加者が、場所や指導者に慣れるまでに時間がかかる。初めての参加者と指導者をどうつないでいくのか大きな課題。
- 定期活動していくには、会費や職員配置などの設定が悩ましい。
- 総合型スポーツクラブが障がい者スポーツに取り組む際の手順などがあると動きがとりやすい。今は得られる情報を使用して自分で行動に移しているが、限度がある。
- 定期的に活動を行える場がすくないことや、卓球ができるのに誘っても出てこない友人がいること、参加意思があってもクラブの活動場までくる交通手段がない人がいることを参加者から聞いた。



## ○総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり事業のまとめ

### 1 令和3年度事業の成果

- ・今年度は、県内地域に偏りなく、受託いただくことで、地域間の温度差解消に寄与できた。
- ・障がい者スポーツを取り入れたいクラブへのきっかけづくりとして有効であった。
- ・2年目のクラブは初年度からの経験を活かし、更に連携先や参加者の増加により地域に伝播しつつある。
- ・比較的手に入れることが困難な障がい者スポーツ用具の整備や、用具の代わりとなるものを自作するなどの工夫が見られた。
- ・スタッフの障がい者スポーツに関する知識が蓄積された。



### 2 事業の課題

- ・昨年度に続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどのクラブが事業の縮小や一部事業の中止を行ったため、参加者数が伸び悩んだ。また、積極的に参加者を募れない時期もあり、軌道に乗るまでに時間がかかってしまう。
- ・参加者を増やしたいがその分必要スタッフや経費も増え、それを賄うには参加費を増やす必要がある為、自主財源で継続するには厳しいクラブもある。
- ・障がい者の受入体制を整えても、視覚障がい者や車いすの方は体育館までの送迎がなければ参加が難しい。施設に体育館があれば指導者が出張してスポーツを実施することは可能だが、ない施設はスタッフによる送迎が必要になる。

### 3 事業の今後について

- ・今後も本事業を継続的に実施し、金銭面の援助を行うことで少しでも障がい者スポーツを取り入れるクラブが増えるよう助成していきたい。
- ・2年目、3年目となるクラブは更に障がい者スポーツの拠点として地域で根付くよう、今年度得られた課題を踏まえ、地域内で行政や関係団体等との連携ができる体制づくりを支援したい。
- ・他クラブとの情報共有を行う場の提供、または当課からも情報提供を行うようにしたい。
- ・クラブ内で障がい者スポーツに対する知識を持ったスタッフが増えるよう、障がい者スポーツ指導員養成研修の周知を行い、研修への参加を促す。

## IV 今後の展望等

### 1 評価・分析等

3年度は「ボッチャ審判員養成講習会」と「総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり事業」をメインに、他の事業と連携しながら事業を実施した。今年度も、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け一部事業の中止又は延期等を余儀なくされたが、感染対策を実施し、事業を進めることができた。

東京 2020 パラリンピックの影響もあり、ボッチャの人気の高まりにより、地域でのニーズが高まってきていおり、ニーズに対応する人材を養成することができた。

また、新型コロナウイルスの影響で、全県をあげた大会やイベント開催が困難な中で、身近な地域で活動する総合型地域スポーツクラブが非常に大きな役割を果たすと思われる。

### 2 反省点

#### (1) ボッチャ審判員養成講習会

- ・ボッチャ審判を一人でも多く養成することを目的に、県内全地域を対象として県下2会場で開催し、計102名に参加いただいたが、そのうち35名がボッチャ大会で審判員として申し込まれた一方で、自信がないとの理由で審判員申込をしなかった方が多かった。
- ・今後、地域の小さなイベントや気軽に審判ができる小さな大会への紹介をして、活躍してもらう必要がある。また来年度も継続的に実施し、少しずつ自信をつけてもらう必要がある。

#### (2) 総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり事業

- ・地域で障がい者スポーツを定着していくためには、市町村の関与が必要。
- ・財政面や人的な面で、障がい者スポーツを導入する余力がないクラブが多い。
- ・障がい者スポーツのノウハウや、各障がい者への対応方法を学べる機会の確保が必要。
- ・総合型スポーツクラブが障がい者スポーツを取り入れる際の手順や方法は県で把握している情報は限度がある為、ワンストップ窓口のような機関を紹介する必要があった。

### 3 今後の課題、施策の方向性

本県では、2028年に全国障害者スポーツ大会の開催が予定されているが、スポーツをする障がい者は新型コロナウイルスも相まって年々減少傾向にあり、選手発掘・育成が急務である。また、障がい者が身近な地域でスポーツを楽しめる環境（場所、人、用具等）も不足しており、地域の環境整備は大きな課題であり、今後も継続的な取組が必要である。

コロナ禍での障がい者スポーツイベント等のありかたや、各事業を実施する中で得られた課題を検討しながら、今後も地域内での連携構築による障がい者スポーツの環境づくり、各競技を支える指導者や審判員等の人材養成を行い、引き続きパラウエーブNAGANOプロジェクトを進めていきたい。

# 関連する取組

## V 関連する取組

### 1 パラウェア広場 in イオンモール松本

大型商業施設内で一般の方向けに、ボッチャ体験やパラスポーツ競技用具の展示を行い、パラスポーツについて知ってもらうための体験型普及啓発イベントを実施。

#### ○イベント内容

イベントスペースにおいて、パラスポーツ競技用具や聖火リレートーチの展示に加え、東京2020パラリンピックで人気が高まったボッチャの体験会を実施。

日時 令和3年10月9日（土）～10日（日）の2日間（場所：イオンモール松本店）

#### 体験スペース・展示スペース



#### あたり前の風景ってなんだろう

体験会だけではなく、今回は各ショップの皆様方にもご協力いただき、「あたり前にあってもいい風景」として車いすに乗ったマネキン等の展示も実施



#### | 協力団体 |

イオンリテール株式会社様    イオンモール松本様  
Asbee Kids 様                      OPTIQUE PARIS MIKI 様  
OPAQUE.CLIP 様 JTB 様  
niko and... 様                      ベビードール 様  
マツイ商会 (有) 様                  (株) モルテン 様  
RegettaCanoe 様

#### | 体験会講師 |

加藤 正さん    馬島 誠さん

#### | パラウェア広場の実績 |

2日間で616人の方が体験  
⇒人通りの多いショッピングモールで実施した効果



## 課題と今後

### ○人が集まる場所での積極的実施

- ・費用対効果も含め、人が集まる場所での体験会の実施は効果的
- ・特に、休日の商業施設など、子どもが集まる場所での実施がより効果的

### ○次年度

- ・引き続き、イオンリテール株式会社様など、ご協力いただける企業の協力を仰ぐ
- ・今年度は新型コロナウイルスの関係から事前周知が行えなかったが、次年度は可能であれば、積極的に事前告知を行い、認知度を高める。

## 2 パラスポーツを題材にした教育プロジェクト「パラ学」の実施

県内の学校に対し、県独自のパラスポーツ体験型授業の提供のほか、パラリンピック教育教材やパラスポーツを題材にした各種プログラムの紹介を行うプロジェクト。

座学、パラスポーツ体験及び出前授業等を通して、児童の「多様性」と「しなやかな心」を育むことと目的として実施。

### 県独自のパラスポーツ体験型授業について



バスケットボール用車いすに乗って、みんなでゴールを目指せ！  
**「車いすボールチャレンジ」**  
 長野県出身のパラリンピックのメダリストを講師として学校に派遣  
 (学校体育館で実施、原則小学4～6年生・中学生が対象、70分～100分授業)  
 ※子どもたちの体験の質を高めるため、事前事後にI'mPOSSIBLEを活用

講師：

加藤 正(伊那市出身)	馬島 誠(辰野町出身)
車いすバスケットボール	パラアイスホッケー
アイススレッジスピードレース	パラ・パワーリフティング

1回目の挑戦	みんなで話し合い (作戦会議)	2回目の挑戦	振り返り
<p>まずはチャレンジ！</p> <p>6人1グループで全員が競技用車いすに乗車した状態で、スタートラインからボールを移動させ、2分間で何回ゴールができるかを競います。  <small>＜イメージ＞</small></p>  	<p>講師から最小限のヒント！</p> <p>どうすればゴールが増えるか みんなで考えよう！</p> 	<p>話し合ったことを実践！</p> <p>1回目より多くのゴールを決められるだろうか…</p> 	<p>気づきの交流</p> <p>講師からの振り返り</p> 



ゴールマン  
① ② ③ ④ ⑤  
車いすに乗車した児童

### 令和3年度の車いすボールチャレンジの実績及び、利用した学校の声

実績 (令和3年7月末～令和4年2月末)

約半年間で多くの学校からお申込みいただきました。

実施数			市町村別の実施クラス数								
実施学校数	実施クラス数	受講児童・生徒数	長野市	松本市	伊那市	木曾町	安曇野市	佐久市	原村	駒ヶ根市	特別支援学校
22	72	1,536	35	15	8	6	4	1	1	1	1

### 学校の声

#### < 先生方の声 >

子どもたちが成長する時間になった  
(6年生担任)

よく考えられていて、教員が使いやすいプログラムになっている  
(教頭先生)

このプログラム、考えたのは誰ですか？  
よくできてる。  
(5年生担任)

#### < 子どもたちの声 >

みんなで協力することがどれだけ大切なのか分かった  
(4年生児童)

私も「できない」を「できる」に変えられる人になりたい  
(4年生児童)

車いすであってもそうでなくても、一緒にスポーツを楽しむことは、みんなだれでも同じだと思った  
(4年生児童)

ここで学んだことを、まだ知らない人に伝えたい。そうしたらきっと、世の中の障がいのある人への態度が変わると思う  
(4年生児童)

## 課題と今後

### ○学校の先生方に視覚的に情報が届くような施策

- ・ 紹介動画の作成
- ・ 県教育委員会を通じて、引き続きの積極的な学校への周知

### ○次年度スケジュール

- ・ 3月当初及び4月中旬の2回に分けて、学校への周知(予定)
- ・ 5月分から申込み受付を開始し、年間を通じて事業の実施を図る



### 3 ボッチャ競技大会「パラウェーブ NAGANO カップ 2021」の開催

#### 概要

- ・障がいや年齢、性別を問わず、小学生以上であれば誰もが出場可能なボッチャの大会
- ・県内4カ所で地区大会を実施したのち、上位チームによる県大会を実施

#### 目的

- ・多様な方が一緒にスポーツを楽しむことを通じてお互いを理解しあう、そんなきっかけとなる交流の場を提供する
- ・ボッチャ審判員やパラスポーツに取り組んでいる方の活躍の場の提供
- ・大会関係者がボッチャを自身の身近な地域へ還元することを通じて、地域でのパラスポーツの更なる広がりを図る

#### 開催日及び場所

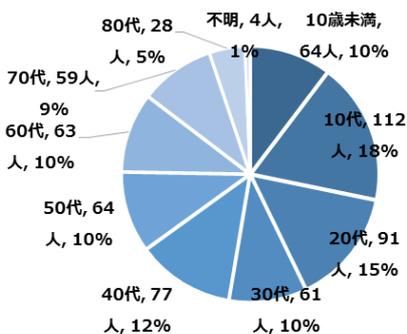
- 地区大会
    - 東信大会（長野県立武道館（佐久市））：令和3年12月11日（土）
    - 中信大会（塩尻市ユメックスアリーナ）：令和3年12月19日（日）
    - 北信大会（長野市南長野運動公園体育館）：令和4年1月16日（日）※中止
    - 南信大会（飯田市鼎体育館）：令和4年1月22日（土）※中止
  - 県大会
    - 県大会（長野県立武道館（佐久市））：令和4年2月5日（土）※中止
- ※新型コロナウイルス感染拡大により中止

### 申込者の実績

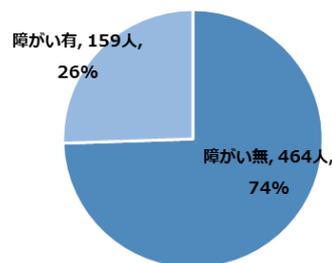
#### ●選手申込者数（4地区大会計）

133チーム、623人

#### 【年代別】



#### 【障がいの有無】



#### 【属性】

- ・小学生
- ・中学生
- ・高校生
- ・施設利用者
- ・病院関係
- ・一般企業
- ・福祉団体
- ・行政関係 等

#### ●実参加者数（東信大会、中信大会計）

65チーム、277名

#### ●審判・ボランティア協力者数（4地区大会計）

審判 70人、ボランティア 9人

※審判70人の内、35人がボッチャ審判員養成講習会の受講者

## 東信大会、中信大会の様子

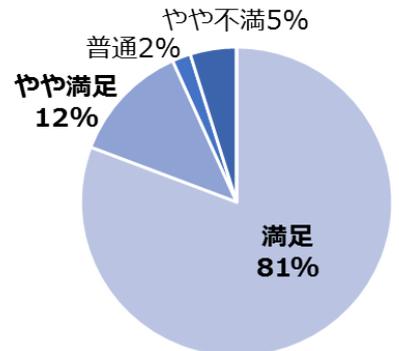


## 参加者の感想

※大会後のアンケートより

- ・ポッチャ楽しかった
- ・大会運営、進行、レイアウト他大変良かったと思います
- ・とてもレベルの高い大会でよかった
- ・普段の練習とは違うチームと対戦でき、各チームの戦略をみるのが勉強になりました。
- ・子どもから高齢者まで同じ土俵で戦うというのはいい事です
- ・多くの方とわいわい楽しめ、いい機会をありがとうございました、来年も参加させて頂きたいと思います。
- ・奥深いスポーツであり、誰もが楽しめるスポーツであるとわかったし、とても楽しい思い出になった

## 【大会の満足度】



## 備考

今回実施は叶わなかったが、調整していた事項

- ・県大会優勝者の副賞に、株式会社アポワテックより最新のポッチャセットの無償提供を獲得
- ・日本ポッチャ協会と交渉の末、当協会が主催する「東京カップ（4月9日・10日）」への出場枠を獲得  
⇒県大会優勝者が出場する予定で調整していた。

## 課題と今後

### ○大会形式の検討

- ・当初の募集チーム数を大幅に上回る申込みがあったため、当初の形式を変えて実施

### ○ルールに対する審判の統一的な認識の差異

- ・審判によってルール上の解釈や認識が異なり、選手が戸惑う場面があった。  
(経験が浅い審判もいたので一定程度は仕方ないが、ルールの理解を深める必要がある。)

### ○次年度

- ・次年度大会は、何チームをどのような構成で集めるか、検討が必要
- ・大会の周知や募集について、より効果的・効率的な方法の検討が必要
- ・審判のレベルアップに向け、引き続きのポッチャの審判ができる場の提供が必要

# その他広報、資料等

## 広報

### PARAWAVE TIMES

- ・事業のPRとして、関係者や市町村、名刺交換をした方に、パラウェーブNAGANOの事業トピックごとにPARAWAVE TIMESを送付
- ・令和3年度は5刊を発行



### PARAWAVE NAGANO 公式HP

- ・事業の効果的な発信のため、公式HPを開設
- ・URL  
<https://parawave.nagano.jp/>
- ・HP開設に係る費用は、当実行委員会事業とは別事業のため、参考掲載



## パラウェーブNAGANOが 第一回「Sport in Life アワード」の優秀賞を受賞



### 第一回「Sport in Lifeアワード」とは

スポーツ庁では、一人でも多くの方がスポーツに親しむ社会の実現のため、「Sport in Lifeプロジェクト」として様々な取組を行っており、その一環として、スポーツ人口の拡大に資する優れた取組を募集し、表彰する「Sport in Lifeアワード」を本年度創設。

受賞された取組を広く社会へ発信することで、より多くの国民のスポーツ参加の機会を創出し、Sport in Life（生活の中にスポーツを）の実現を目指すものです。

※詳細：[https://sportinlife.go.jp/news/20220215\\_2.html](https://sportinlife.go.jp/news/20220215_2.html)

### 受賞団体

最優秀賞1団体、優秀賞11団体（企業部門4、団体部門3、自治体部門4）

※本県は、4団体が選ばれた優秀賞（自治体部門）の一つとして選定されました。

### 表彰式（兼Sport in Lifeコンソーシアム総会）

- ・日時 令和4年3月1日（火）14時45分～16時45分
- ・会場 日比谷国際ビルコンファレンススクエア  
**オンライン配信あり**
- ・視聴URL  
<https://youtu.be/IfWP43SA33s>（無料）



# PARAWAVE TIMES

## Vol. 9

パラスポーツの新しい波を起こそう！  
パラウェーブNAGANO プロジェクト推進中

発行者：パラウェーブNAGANO実行委員会  
(事務局：長野県健康福祉部障がい者支援課)  
〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2  
電話:026-235-7108 FAX:026-234-2369 (担当)金井大地

### パラ学がスタート！ ～前編～ 長野市立松代小学校でI'mPOSSIBLEの授業が行われました

“ パラ学とは、県内の学校に対し、県独自のパラスポーツ体験型授業の提供のほか、パラリンピック教育教材やパラスポーツを題材にした各種プログラムの紹介を行う県の事業です。松代小学校を皮切りに、県内の学校への普及を進めていきます。

”

#### ○ 公平って何だろう？

7月8日(木)、松代小学校5年1組(20人)は、国際パラリンピック委員会公認教材『I'mPOSSIBLE』日本版を活用した授業を実施。

最初に担任の吉田先生から「ドッチボールをする際に車いすの友達にはボールを当てないというルールができたけど、みんなはどう思う？」と問いかけられた子どもたちからは、「(車いすの友達は)つまらないと思う」という意見が出た。そこで今度は、車いすの友達との玉入れをする際どのようなルールだとみんなが楽しく競い合えるかを題材に、「公平」についてみんなで考えた。

子どもたちは、「車いすに専用のカゴをつけて、そこに球を入れておく」や「車いすの友達がいるチームだけに手を加えるのは不公平」など、みんなで活発に意見を出し合い、議論した。



#### ○ 工夫をすれば一緒にできる



吉田先生から、ルールを決めるとき、(障がいのある)本人に聞くこと、みんなが納得する形にすること、相手の気持ちになって考えることが大切なのだともめられた授業。

子どもたちからは、「公平にするって難しい」、「思いやりが(障がいのある)本人にとっては困ることがあるかもしれない」などという意見や、「障がいがある人でも工夫をすれば一緒にスポーツができる」、「こういった考え方は、クラスや学年の学校生活でも活かせる」などと感想が出た。

(後編は体験型授業「車いすポートボールゴールチャレンジ」のレポートです)



# PARAWAVE TIMES

発行日：2021年9月6日

## Vol. 10

パラスポーツの新しい波を起こそう！  
パラウェーブNAGANO プロジェクト推進中

発行者：長野県健康福祉部障がい者支援課 障がい者スポーツ支援係  
〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2  
電話：026-235-7108 FAX：026-234-2369 担当 金井大地

### パラ学がスタート！ ～後編～ 長野市立松代小学校で車いすポートボールゴールチャレンジに挑戦！

“ 事前学習として『I'mPOSSIBLE』を活用した授業を受講した松代小学校の5年生。  
今回は、競技用車いすを利用したパラスポーツの体験型授業「車いすポートボールゴールチャレンジ」を受講。  
事前に学んだことを、体を使って、楽しみながら深めました。 ”

パラ学とは、座学、パラスポーツ体験及び出前授業等を通して、  
児童の「多様性」と「しなやかな心」を育むことを目的とした県独自のプロジェクトです。

#### クラスみんなで挑戦！



7月14日（水）、松代小学校の5年1組（20人）と2組（19人）は、長野パラリンピックなど5大会のパラリンピックに出場した加藤正さんを講師に迎え、長野県独自の体験型授業に取り組んだ。

授業は、グループごと競技用の車いすに乗って、仲間と共にゴールの回数を競うという新たなパラスポーツ。様々な条件が課されているため、工夫しないとゴールを増やせない。

全グループが2回実施。1回目は慣れない車いす操作に苦戦し、ゴールを増やすためにどうすればいいのか、頭を悩ませた。

#### みんなで話し合えばできるようになる

2回目のゲームの前に作戦会議を実施。加藤講師のアドバイスを受けながら、どうすれば1回目より得点を増やせられるか、グループごとに議論。



2回目はほとんどのグループで1回目より得点を伸ばし、考えた作戦が成功。

授業を通じ加藤講師は、このゲームを通じて、「困難なことでもみんなで話し合えばできるようになる。どうすれば障がい者と一緒に生活ができるか考えてほしい」と、児童に説いた。

子どもたちからは、「難しかったけど楽しかった」「パラリンピックに興味を沸かした」といった感想が聞かれた。



（前編は事前学習として『I'mPOSSIBLE』を活用し座学授業（7/8）の様子をお届けしております。）

#### 9月末からパラ学が再開

現時点で、長野市、松本市、伊那市、佐久市内の学校70クラス以上からパラ学の申込があり、9月末から随時実施していきます。  
申込を希望する又は興味のある学校は、長野県障がい者支援課までお気軽にご相談ください。



# PARAWAVE TIMES

## Vol. 11

パラスポーツの新しい波を起こそう！  
パラウェーブNAGANO プロジェクト推進中

発行者：長野県健康福祉部障がい者支援課 障がい者スポーツ支援係  
〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2  
電話：026-235-7108 FAX：026-234-2369 担当 金井大地

### 「パラウェーブ広場inイオンモール松本」を実施 2日間で616人の方に、パラスポーツを体験いただきました！

“ 10月9日(土)、10日(日)に、イオンモール松本様の多大なるご協力の下、イベントスペースにて、ポッチャの体験会や、各種パラスポーツの用具とパラリンピック聖火リレートーチ等の展示を行いました。 ”

#### 親子や若者ご参加！

ショッピングに訪れた親子連れや友達同士の方などが、パラウェーブ広場に立ち寄りくれました。訪れた方からは、「ポッチャ知ってる！」「パラリンピックで見ました。」といった声が聞かれました。東京2020パラリンピックの影響もあり、パラスポーツの注目度も高まっています。



#### あたり前の風景ってなんだろう

体験会だけではなく、今回は各ショップの皆様方にもご協力いただき、「あたり前にあってもいい風景」として車いすに乗ったマネキン等の展示も行いました。



イオンモール松本様はじめ、御協力いただいた店舗・企業の皆様、誠にありがとうございました。



# PARAWAVE TIMES

## Vol. 12

パラスポーツの新しい波を起こそう！  
パラウェーブNAGANO プロジェクト推進中

発行者：長野県健康福祉部障がい者支援課 障がい者スポーツ支援係  
〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2  
電話：026-235-7108 FAX：026-234-2369 担当 金井大地

### ポッチャ競技大会「パラウェーブNAGANOカップ2021」がいよいよスタート！ 東信大会では、総勢140人、35チームが熱戦を繰り広げました。

“ 12月11日(土)に、長野県立武道館(佐久市)にて、東信大会が行われました。  
(パラウェーブNAGANOカップは県内4か所で開催されますが、その1大会目です。) ”

#### 元気のいい選手宣誓から、大会スタート



佐久市中佐都小学校の児童の皆さんの、  
元気のいい選手宣誓から、大会がスタート！

＜宣誓の抜粋＞  
「障がいがあってもなくても、正々堂々と戦うことを誓います！」



選手全員でバシヤリ！

#### 高レベルで白熱！



選手の皆さんの技術・戦術のレベルが高く、  
ボールが密集するコートが続出。  
審判は大変そう…。



判定が  
気になる～

- 東大会進出の8チーム**
- ＜優勝＞ チーム佐久穂
  - ＜準優勝＞ 佐久市教育委員会スポーツ課
  - ＜3位＞ 波動砲、キュアZ
  - ＜5位＞ ホワイトパーチ、佐～久るポッチャB、ウォールナッツ、さくら

#### 多くの審判・ボランティアに感謝！

審判・ボランティア、総勢34名にご協力いただきました。  
本当にありがとうございましたm(\_)\_m



スタッフも夜な夜なコート作り  
がんばりました。



大会公式  
ホームページ

次なる戦いの場は12月19日(日)  
中信地区ユメックスアリーナへ！  
総勢30チームが参加します！

**ご出場いただいた選手の皆さま、ご参加誠にありがとうございました！**



# PARAWAVE TIMES

発行日：2021年12月22日

## Vol. 13

パラスポーツの新しい波を起こそう！  
パラウェーブNAGANO プロジェクト推進中

発行者：長野県健康福祉部障がい者支援課 障がい者スポーツ支援係  
〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2  
電話：026-235-7108 FAX:026-234-2369 担当 金井大地

### ポッチャ競技大会「パラウェーブNAGANOカップ2021」中信大会 小学生チーム大健闘！

12月19日(日)に、塩尻市ユメックスアリーナにて、中信大会が行われました。  
(パラウェーブNAGANOカップは県内4か所で地区大会が行われますが、その2大会目です。)

正々堂々と戦うことを、ここに誓います！

花田養護学校の小林選手の、  
熱い選手宣誓から、大会がスタート！



総勢30チーム、137名の選手が出場！

チームみんなで  
真剣に話し合い



和気あいあいと、真剣勝負！

判定を折って  
待ちます



ランプ対ランプ 白熱！

小学生チームが数チーム参加してくれました。県大会進出はなりませんが、大健闘！今後もポッチャに親しんでほしいですね。

県大会進出の8チーム

- <優勝>  
一球入魂！小松組
- <準優勝>  
チームエコミット
- <3位>  
一球入魂、TEAM岡谷A
- <5位>  
チーム義仲(よしなか)  
チーム上腕二頭筋(健和会病院)

県大会進出の  
皆さんは、  
さすが！です。  
ピタッとボール  
を近づけていま  
した。

多くの審判のご協力に感謝！

審判、総勢23名にご協力いただきました。  
本当にありがとうございました！



若き審判員も  
大活躍！



審判の呼びかけ、マスク外してパレージ



障害者就労施設の皆さんが、軽食を販売！  
編集者である私も、クッキーにケーキと、美味しく頂きました(^^)



大会公式  
ホームページ

北信大会は年明け1月16日(日)  
次はどんな大会になるか楽しみですね！

**ご出場いただいた選手の皆さま、ご参加誠にありがとうございました！**

令和3年度 障がい者スポーツに関するアンケート調査結果 【総合型地域スポーツクラブ】  
 県障がい者支援課

回答数 52 クラブ/67クラブ 回答率: 77.6%

Q1 貴クラブの活動(教室やイベント等)に、障がいのある方は参加していますか。	
参加している	18
参加していない	32
わからない(把握していない)	2

「参加している」場合、参加している方の障がい

視覚障がい	5
聴覚障がい	0
車いす使用	2
肢体不自由	7
内部障がい	0
知的障がい	40
精神障がい	18

Q2 上記Q1で「参加している」と回答したクラブに伺います。

(1)障がいのある方が参加している活動はどのような活動ですか。

市町村	クラブ名	活動内容
佐久市	岸野スポーツクラブ	軟式野球(信濃レッドスタズ)
軽井沢町	スポーツコミュニティ軽井沢クラブ	ユニバーサルスポーツ祭(町民運動会)
御代田町	身体能力活性化倶楽部fun	卓球大会 子供向け運動教室
上田市	さなだスポーツクラブ	バランスボール、ヨガ、健康ウォーキング
伊那市	伊那市総合型地域スポーツクラブ	保護者サポート、イベント等
飯田市	南信州クラブ	ラグビー
阿智村	チャレンジゆうAchi	個人トレーニング
喬木村	たかぎスポーツクラブ	フットサル、テニス
上松町	木曾ひのきっ子ゆうゆうクラブ	水泳教室、木曾養護の体育授業
松本市	松本山雅スポーツクラブ	ブラインドサッカー、ソーシャルフットボール
松本市	skipまつもと	サッカー
上田市	うえだミックススポーツクラブ	硬式テニス
松本市	総合体操クラブWing	ダウン症親子体操
安曇野市	スポネット常念	運営委員、ミニバスケットボール

(2)その活動はどのような形態で行っていますか。

障がいのある方を対象としたプログラム	4
一般のプログラム(特別な配慮をする)で健常者と一緒に実施	6
一般のプログラム(特別な配慮はしない)で健常者と一緒に実施	9
その他(具体的に)	

(3)その活動はどのくらいの頻度で行っていますか。

週2回以上	0
週1回程度	7
月2回~3回程度	3
月1回程度	2
2か月に1回程度	0
年2回~5回程度	2
年1回程度	5

Q3 貴クラブの指導者等で、「障がい者スポーツ指導員」の資格を有している方はいますか。	
いる	10
いない	42

Q4 貴クラブの活動に、障がいのある方が安全に参加するためにマニュアルを作成していますか。	
マニュアルがあり、障がい別に考慮した項目がある。	1
マニュアルはない。	51

Q5 障がいのある方の参加を促進する上で、課題は何ですか(複数回答可)	
障がいや障がい者スポーツに関する知識・技術の不足	33
障がい者スポーツに関わる機会の不足	23
指導者の確保	36
参加者の送迎手段の確保	17
施設のバリアフリー化	13
障がい者スポーツ用具の確保	20
障がいのある方へのアプローチ方法	19
市町村の福祉担当課との連携	10
地域での支援ネットワーク(障がい者スポーツ競技団体、特別支援学校等)	14
特にない	5
その他(具体的に)	
伊那市 伊那市総合型地域スポーツクラブ	スタッフ謝金
千曲市 はつらつ千曲クラブ	会員の意識改革

Q6 障がいのある方の参加を促進するため、希望する支援は何ですか。(3つ以内)	
クラブ指導者等を対象とした障がい者スポーツに係る研修会	25
障がい者スポーツ指導員の派遣	20
障がい者スポーツ用具の貸出	15
障がいのある方へのアプローチ方法(参加を呼びかけるための広報活動等)	16
地域の支援ネットワーク化(障がい者スポーツ競技団体、特別支援学校等)	16
障がい者アスリートの派遣	7
障がい者スポーツに関する情報提供	13
特にない	5
その他(具体的に)	
上田市 うえだミックススポーツクラブ	障がいのない人の理解促進
茅野市 茅野市蓼科高原スポーツクラブ	費用・経費・謝金
伊那市 伊那市総合型地域スポーツクラブ	サポート人材、謝金
南箕輪村 南箕輪わくわくクラブ	村の協力
長野市 塩崎スポーツクラブ	役員会での合意
千曲市 千曲アプリコットスポーツクラブ	障がい者の参加費分の助成
千曲市 はつらつ千曲クラブ	障がい者と一緒に活動できるサークルがない
飯綱町 いいづなスポーツクラブ	他の団体との連携強化

2022年3月発行

パラウェーブNAGANO実行委員会

事務局：長野県健康福祉部障がい者支援課

電話:026-235-7108 FAX:026-234-2369

E-mail: [parawave@pref.nagano.lg.jp](mailto:parawave@pref.nagano.lg.jp)